

小牧市制70周年記念事業  
小牧山城復元プロジェクト

# 史跡小牧山

## 夢・チャレンジ寄附金

～信長が築いた小牧山城の石垣が  
あなたの応援で現代によみがえる～

募集期間延長！！  
令和8年3月13日（金）まで



大手道の岩壁と石垣（令和5年度整備工事箇所）

### 史跡小牧山の概要

#### 「近世城郭のルーツ」小牧山城

小牧市のシンボル・史跡小牧山は、天正12（1584）年、小牧・長久手の合戦で織田信雄・徳川家康連合軍が本陣を置いた地として知られています。しかしそれを遡ること21年前の永禄6（1563）年に、織田信長が初めて自らの手で城を築き、岐阜に移るまでの4年にわたり居城とした地でもあるのです。

信長が築いた小牧山城は、かつては美濃攻略のための簡易的な前線基地と考えられていました。しかし、近年の発掘調査の結果、城の中心部に当時では類を見ない規模の石垣を巡らし、麓には計画的な城下町を整備した、日本城郭史上における革新的な城であったことがわかりました。

信長は、小牧山城で石垣を用いることで、単に戦うための施設という枠を超え、城を自己の権威の象徴とする、新しい城の概念を生み出しました。信長が創り出したこの新しい城の概念は後世の城郭にも受け継がれていることから、小牧山城は「近世城郭のルーツ」ともいべき城なのです。



史跡小牧山全景



発掘調査中の石垣の様子

### 史跡小牧山の主郭地区整備

#### 信長が築いた石の城が現代によみがえる！！

約20年におよぶ発掘調査の結果、信長は小牧山の山頂部を取り巻くように2～3段の石垣を築いていたことがわかりました。特に1段目の石垣は、1トンを超える巨石を用い、高さが約3mにも及ぶ、当時では類を見ない規模のものでした。

現在小牧市では、発掘調査の成果に基づいて、5か年にわたって山頂部の石垣等の復元整備を行っています。石垣等の復元整備にあたっては、土の中に埋まっていた信長築城当時の石垣を保存しつつ、一部には新たな石材を補い、野面積みと呼ばれる築城当時の積み方で復元をしています。

復元整備の開始から5年目にあたる令和7年度の復元整備工事をもって、小牧山山頂部を取り巻く総延長約450mの石垣の復元が完成する予定です。

信長の築いた小牧山城石垣の威容を現代によみがえらせることで、史跡小牧山を訪れる多くの方にその魅力や迫力を体感していただき、小牧市のシンボル「史跡小牧山」の歴史的価値を伝えていきます。



復元整備した2段の石垣

特典【寄附者名を小牧山歴史館内に設置し、末永く顕彰します】

## 【史跡小牧山 夢・チャレンジ寄附金】の概要

### あなたの寄附で小牧山城を未来へつなげよう

開始から5年目となる令和7年度の石垣復元整備では、山頂南東側の2段の石垣等の復元を行う予定で、今年度の整備をもって山頂主郭の周囲を取り巻く2～3段の石垣の復元が完成します。

折しも、令和7年は小牧市が市制施行70周年を迎えた年でもあり、史跡小牧山の石垣復元整備の完成に向け、小牧市制70周年を記念して、史跡小牧山の石垣復元を応援していただける皆様からのご寄附を募集することとなりました。

皆様からの応援をお待ちしております。

#### ・寄附金の使いみち

皆様からいただいた寄附金は、山頂部の石垣復元整備などの史跡小牧山主郭地区整備事業に活用します。

#### ・募集期間：令和7年12月末日まで

**延長後 令和8年3月13日（金）まで**

#### ・寄附方法：本リーフレットを参照



令和7年度整備予定エリア

整備完了後イメージ図

## 寄附の特典

あなたの想いが名前とともに未来へ残ります

ご寄附いただいた特典として、寄附者名を掲載した銘板を小牧山山頂にある小牧山歴史館内に設置し、末永く顕彰します。

寄附金額ごとの掲載枠のサイズは以下の表のとおりです。

対象者	寄附金額	特典
個人	3万円以上	寄附者銘板に氏名掲載（2cm×8cm）
市内本社企業 個人	10万円以上	寄附者銘板に企業名・氏名掲載（4cm×16cm）
すべての企業 個人	100万円以上	寄附者銘板に企業名・氏名掲載（4cm×16cm） 市長感謝状の授与

※一つの掲載枠に複数名の企業名・氏名を掲載することはできません。  
※銘板に掲載する寄附者名は個人の本名または登記された企業名（または屋号）に限ります。

※個人の場合、寄附者本人の氏名に代えて、寄附者のご家族の氏名の掲載も可能です。

変更しました！！

※銘板は令和8年3月頃に設置予定です。

→令和8年7月頃の設置となります。

※その他特典に関する詳細は市ホームページをご覧ください。

氏名掲載イメージ（2cm×8cm実寸大）

織田 信長



小牧山歴史館 3層4階建て鉄筋コンクリート造の模擬天守。名古屋市の実業家、平松茂氏が私財を投じて建設し、昭和43年に小牧市に寄贈された。館内では戦国時代の小牧山についての展示を行っている。

## 寄附に対する税制上の優遇

ふるさと納税でお得に寄附できます

#### ■企業の方

寄附された金額を法人税の規定により損金算入することができます。  
市外に本社が所在する企業を対象とした企業版ふるさと納税制度も利用できます。

※企業版ふるさと納税制度をご利用の場合は、秘書政策課（TEL:0568-76-1105）へお問合せください。

#### ■個人の方

こまき応援寄附金（ふるさと納税）制度の適用が受けられます。小牧市内・市外在住を問いません。  
返礼品は市内・市外ともにありません。

※ふるさと納税制度についての詳細は、総務省の「ふるさと納税ポータルサイト」をご確認ください。

実質負担 2,000円で寄附できます！  
※適用には条件があります

## 寄附金控除を受けるための手続き

寄附に対する税制上の優遇を受けるためには所定のお手続きが必要となります。詳細は下記および小牧市ホームページをご覧ください。

所得税の確定申告をされる方

確定申告を行うことにより、寄附金控除の適用を受けることができます。確定申告には小牧市からお送りする寄附金受領証明書（納税者名義）が必要です。寄附金受領証明書は大切に保管してください。

ふるさと納税ワンストップ特例制度を利用される方

本特例制度の利用を希望される場合は、所定の手続きが必要となります。詳細は小牧市ホームページ「ふるさと納税ワンストップ特例制度とは」（右記QRコード）をご覧ください。⇒⇒⇒⇒⇒



## 寄附のお申込み方法

#### ■市役所窓口でのお申込み（納付書払いなど）【企業・個人の方はこちら】

寄附申込書を小牧市教育委員会事務局小牧山課窓口へご提出いただき、市が発行した納付書を金融機関窓口へお持ちいただくことでお支払いいただけます。

※納付書による寄附の場合でも、ふるさと納税制度を利用した税額控除を受けることができます。  
※ご入金確認後、小牧市より寄附金受領証明書をお送りいたします。なお、受領証明書が届くのは、振込日から2～3か月後となる場合があります。受領証明書が届くまで、納入通知書兼領収書は大切に保管してください。  
※企業版ふるさと納税制度をご利用の場合は、秘書政策課（TEL:0568-76-1105）へお問合せください。

#### ■インターネットによるお申込み（オンライン決済など）【個人の方はこちら】

ふるさと納税サイト（楽天・ふるさとチョイス・さとふる）から寄附のお申込みができます。  
クレジットカード決済など、オンライン決済により寄附金をお支払いいただけます。

※楽天・ふるさとチョイスの場合、会員登録をせずに寄附することもできます。  
※会員登録をせずに寄附した場合でも、ふるさと納税制度を利用した税額控除を受けることができます。  
※返礼品へのお申込みはできません。

#### 【ご家族で寄附される方へ】

一度のお申込みで複数の掲載枠を希望することができます。（例えば、3名の氏名を掲載する場合、9万円以上の寄附で掲載が可能です。）

#### お申込み方法に関する詳細はこちら

・寄附申込書ダウンロード  
・ふるさと納税各サイトURL

## お問合せ先

小牧市教育委員会事務局 小牧山課

TEL: 0568-76-1623（受付時間/平日9:00~16:00）

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地 小牧市役所本庁舎3F

